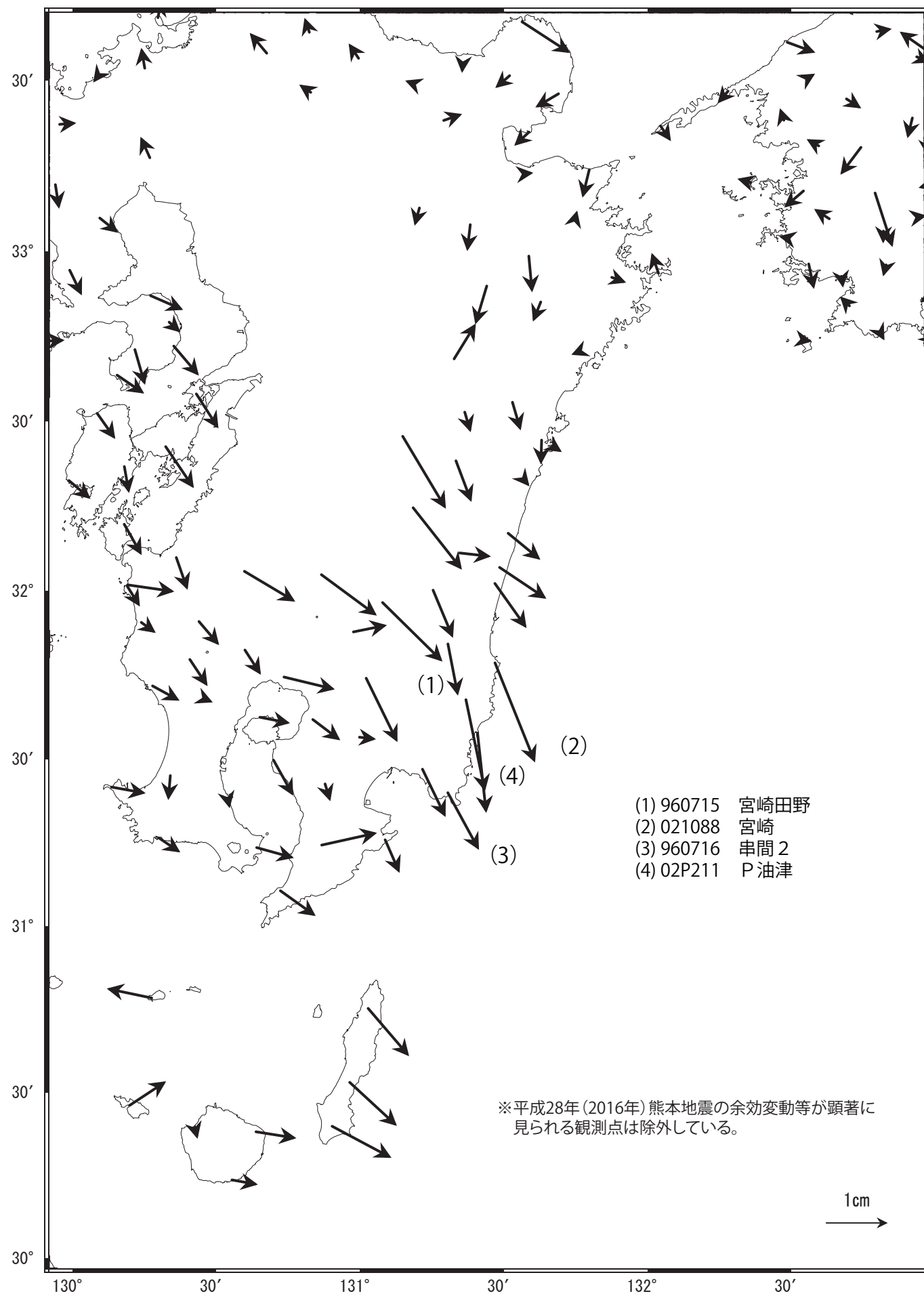


九州地域の非定常水平地殻変動(1次トレンド除去後)

基準期間: 2020/01/01~2020/01/07 [F5: 最終解]

比較期間: 2021/06/13~2021/06/19 [R5: 速報解]

計算期間: 2012/01/01~2013/03/01

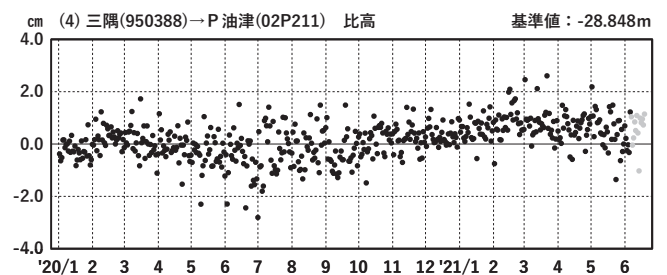
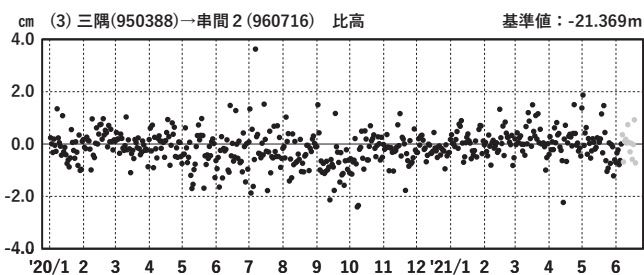
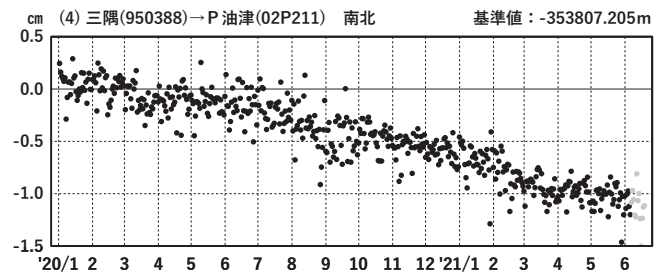
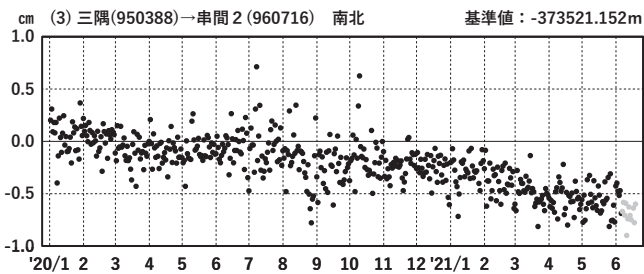
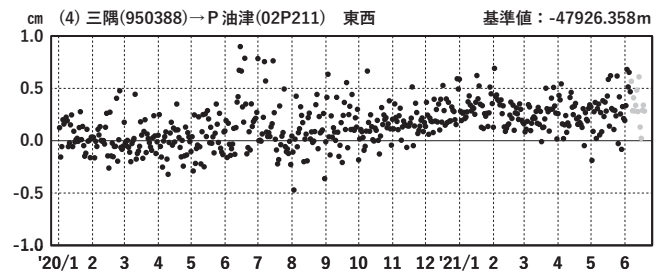
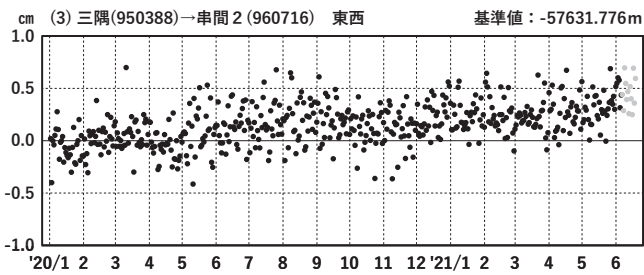
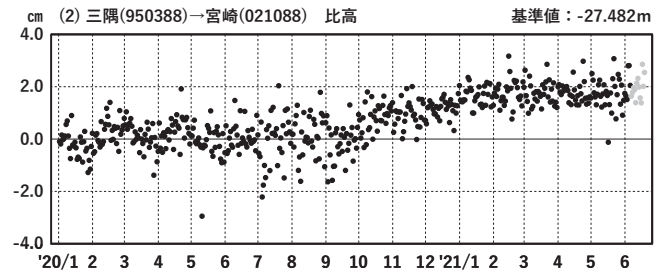
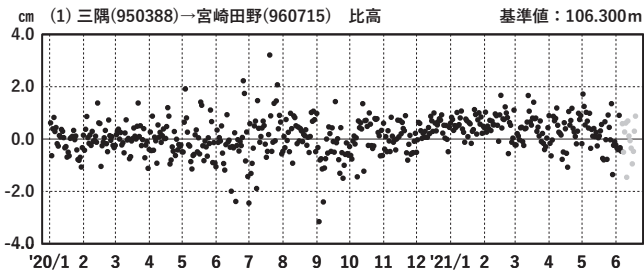
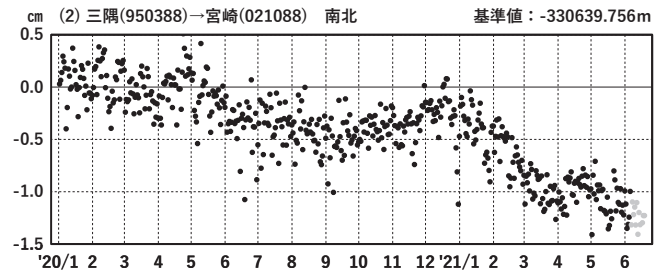
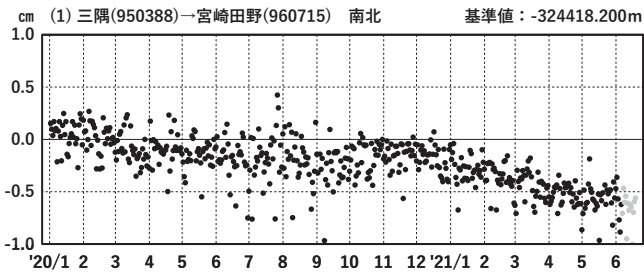
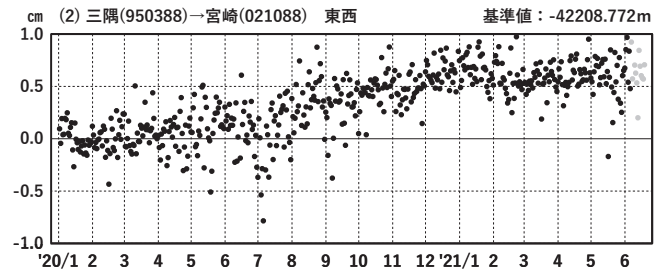
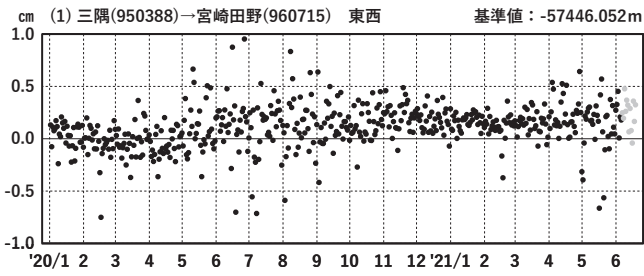


九州地域 G N S S 連続観測時系列

1次トレンド除去後グラフ

期間: 2020/01/01~2021/06/19 JST

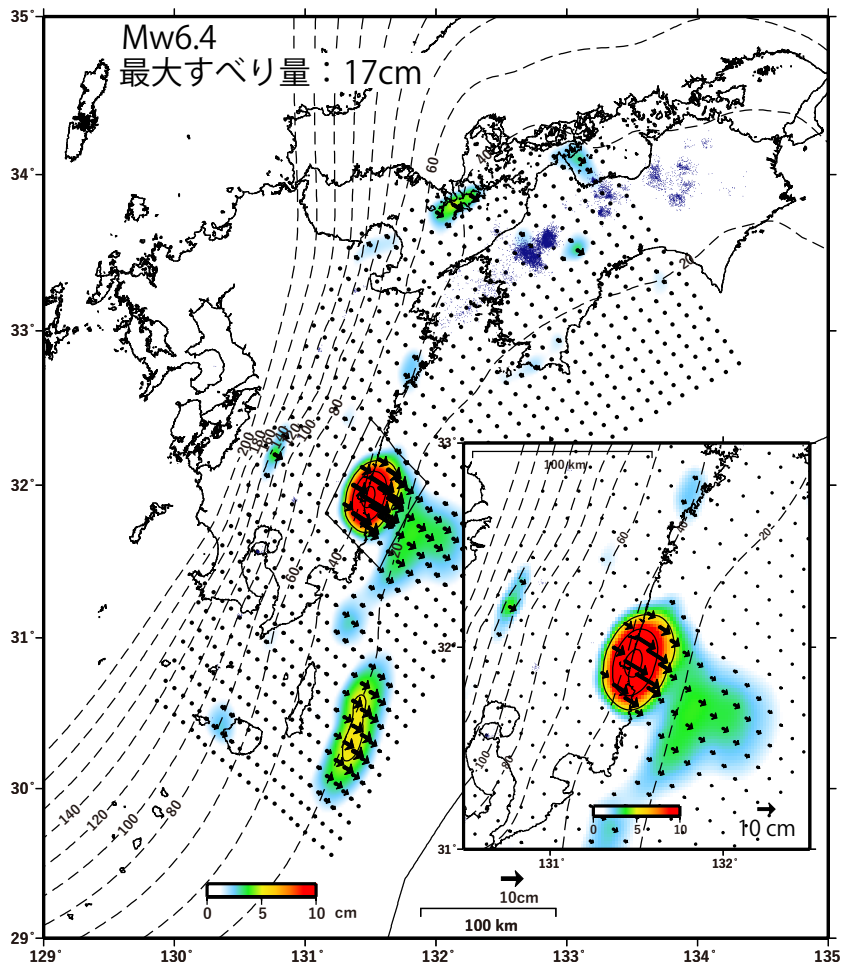
計算期間: 2012/01/01~2013/03/01



●---[F5:最終解] ●---[R5:速報解]

GNSSデータから推定された日向灘南部の長期的ゆっくりすべり(暫定)

推定すべり分布
(2020/6/1 - 2021/6/9)



推定したすべり量が標準偏差(σ)の3倍以上のグリッドを黒色表示している。

使用データ：F5解(2020/1/1 - 2021/5/29) + R5解(2021/5/30 - 2021/6/9) ※電子基準点の保守等による変動は補正済み

トレンド期間：2012/1/1 - 2013/3/1 (年周・半年周成分は補正無し) ※平成28年(2016年)熊本地震の余効変動等が顕著に見られる観測点は除外している。

モーメント計算範囲：左図の黒枠内側

観測値：3日間の平均値をカルマンフィルターで平滑化した値

黒破線：フィリピン海プレート上面の等深線(弘瀬・他、2007)

すべり方向：プレートの沈み込み方向と平行な方向に拘束

※最大すべり量はプレート面に沿って評価した値を記載(前回までの資料は水平面への投影成分を評価。その場合の最大すべり量は15cm。)

青丸：低周波地震(気象庁一元化震源)(期間：2020/6/1 - 2021/6/9)

固定局：三隅

観測値(黒)と計算値(白)の比較
(2020/6/1 - 2021/6/9)

